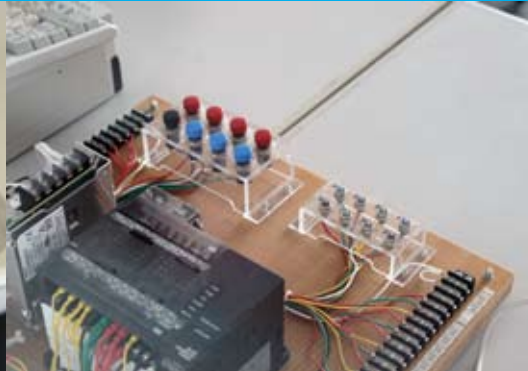
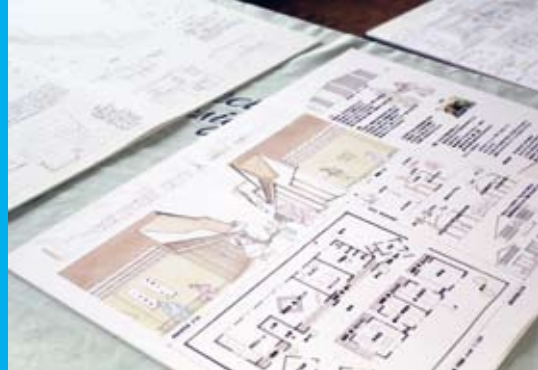




# 目指せ!! 理系のスペシャリスト



2020 学校案内 第15期生募集



SHIZUOKA PREFECTURAL HIGH SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

静岡県立科学技術高等学校

# 開校から12年

## 理系高校としての着実な歩み

理系のスペシャリストを育成するために、平成20年に創られた理数科と工業科をもつ新しいタイプの学校です。**創造力の育成、課題解決能力の育成、人間力の育成**を三つの柱とし、日本の未来を創ることができる「ほんものの力」をつけることを教育方針としています。そのため、あえて普通科とはせず、実験・実習を通して培われる理系の本物の感性を育てることを大切にしました。

工業科はさらに専門性の高い8つの小学科を設置し、県内の科学技術者の養成のみならず、グローバルな感覚をもった世界で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。

# 高い進学実績

## 全国公立工業系高校No.1

本校は専門高校でありながら高い進学実績を残しています。理数科はほぼ全員が進学します。平成30年度は、理数科29名、工業科43名が現役で国公立大学へ合格しました。国公立大学72名は、全国の工業系の公立高校ではNo.1でした。地元静岡大学には工学部を中心に15名が合格しています。

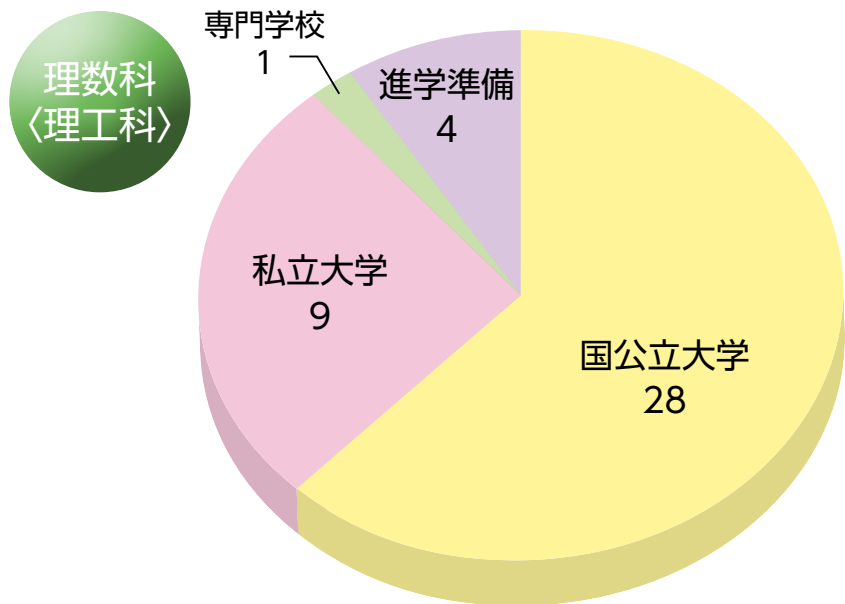
# 就職率は100%

## 公務員にも多数合格

就職希望者に対する求人は、過去3年間4倍を下回ったことはなく、多くの企業が本校に期待してくださっています。したがって、開校以来就職率は100%です。また、公務員には国土交通省や静岡市役所を筆頭に18名が就職しています。また、県外の大学へ進学した卒業生に対して大学卒業後に静岡県内の優良企業にUターン就職ができるよう橋渡しも行っています。



# あなたの希望の進路をかなえる



# 平成30年度 卒業生の声



京都大学 理学部  
佐野 匠さん  
(理工科卒・静岡市立城内中学校出身)

理工科では、1年次に工業科の実習を2年次に課題研究を学習し、日々の学習で得た知識の使い方を自ら考え、主体的に学ぶことができます。これにより、進路に明確なイメージを持つことができました。朝や放課後、休日の補講が充実していて、学習や進路について相談できる機会も非常に多くあるので、成長しようと思えば際限ない環境でした。挫折や苦労もありましたが、級友や先生方の支えがあり、様々な困難を乗り越え、大きく成長でき、充実した3年間でした。



## 恵まれた環境 充実の設備 もちろん空調も！

広大な敷地に、5階建ての普通教室棟・3階建ての実習棟が2棟、全面人工芝のグラウンド、全天候のテニスコート、50mプールなど、施設・設備の充実は県内公立高校No.1。電子顕微鏡や高額な実習装置も自由に使えます。もちろん教室には空調設備もあり、快適な環境で学習することができます。その充実ぶりは全国的に見ても珍しく、他県からの見学者が絶えません。

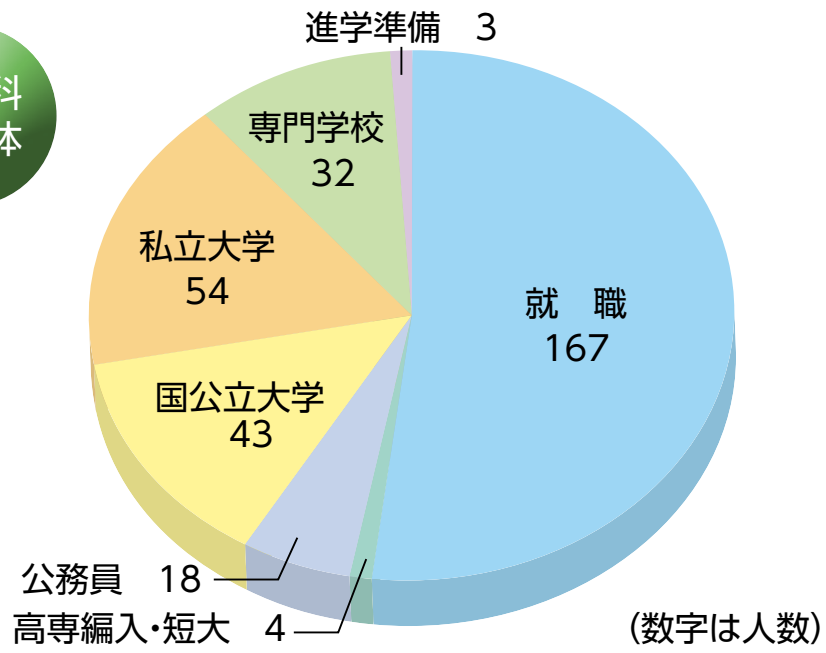
### 工業科(Ⅱ類)はくくり募集をします

工業科は8科ありますが、ロボット工学科・電子工学科・情報システム科の3科は【Ⅱ類】としてまとめて募集します。入学後、各科の学習内容をよく理解したうえで、どの科に進むか決定します。(夏休みに本人の希望と1学期の学習成果を用いて決めていきます。)

以下の学科はそれぞれの科で募集します。  
 機械工学科・電気工学科【Ⅰ類】  
 建築デザイン科・都市基盤工学科・物質工学科【Ⅲ類】  
 理数科(理工科)【Ⅳ類】

## 進学・就職 平成30年度進路実績

工業科  
全 体



## 万全な 学力向上対策 毎日7時間授業

より高度で専門的な学習を行うためには普通教科の基礎学力も大切です。また実験や実習を行うためには時間が必要です。そのためには、本校は開校以来1日7時間の授業を行っています。1年間で履修する単位が35単位、3年間で105単位学習を行う公立高校は、県内で本校だけです。

中学校で技術科の先生の影響を受け、教師になりたいというわずかな思いは、高校三年間で明確な目標へと変わりました。文武両道を心がけ、講座や補習に積極的に参加する一方、部活動では全国大会への出場を果たしました。また、ボランティア活動や静岡大学教育学部との連携講座、IT夢コンテストなど、多くの課外活動に取り組みました。多くの人と関わることができたうえに、ものづくりの楽しさを子供達にも伝えたいという強い気持ちを持つことができました。三年間を充実して過ごすことができました。



信州大学 教育学部  
宮下紀香さん  
(情報システム科卒・静岡市立清水第七中学校出身)

高校での三年間は、本当に充実しており、専門的な学習や実習では、初めて学ぶことばかりで、好奇心を持って取り組みました。それが資格取得、課題研究に活かしました。また、部活動で、高校からウェイトリフティングを始め、先生方の熱心な御指導によりインターハイや国体で上位入賞することができました。多くの友人や先生方との出会いが、自分自身を成長させてくれました。大変なことや失敗もありましたが、科学技術高校を選んで良かったと思っています。



トヨタ紡織株式会社(学園生)  
増井涼真さん  
(ロボット工学科卒・藤枝市立葉梨中学校出身)

学びたいテーマ、きっとある！



## 理数科

R

科学の芽を育てます

理工科

[Science and Technology Course]

## 工業科 8学科

M

ものづくりの技術が  
未来をつくる

機械工学科

[Mechanical Engineering]

E

目指せ！電気の  
スペシャリスト

電気工学科

[Electrics Engineering]

F

いま  
現在を支える  
最先端のロボット技術

ロボット工学科

[Robot Engineering]

D

未来の生活を創る

電子工学科

[Electronics Engineering]

J

目指せ！未来の  
ICTエンジニア

情報システム科

[Information System]

A

目指せ！住まいと暮らしの  
クリエイター

建築デザイン科

[Architecture Design]

U

社会基盤をつくり  
守るシビルエンジニア

都市基盤工学科

[Civil Engineering]

B

夢をかなえる物質を  
求めて

物質工学科

[Material Engineering]

※主な進路先は、過去3年間の累計で示してあります。